

東京外環  
(関越～東名)

GAIKAN

2006年3月

# 外環journal

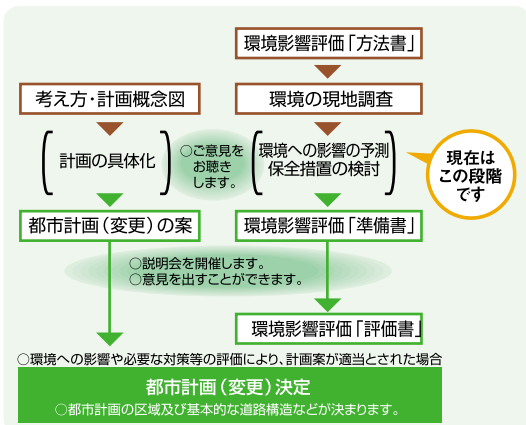
## ジャーナル

第22号

(発行所) 国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所  
〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEL/FAX 0120-34-1491 (外環専用ダイヤル)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

## 東京外かく環状道路 (関越道～東名高速間) 環境への影響と保全対策を公表



環境への影響については、これまで、平成15年に環境影響評価方法書を公告・縦覧し、環境への影響の予測・評価手法や現地調査の項目について示し、平成16年から環境の現地調査を実施してきました。

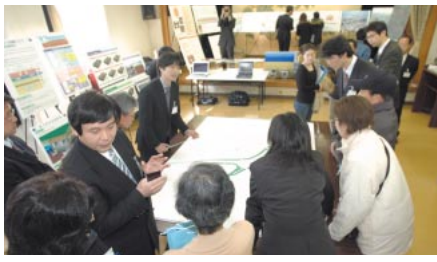
さらに、昨年9月以降、計画の具体化に向け、「考え方」や「計画概念図」を示し、広くご意見をお聴きしています。沿線地域では、環境への影響を懸念するご意見、質問を数多くいただいています。

このように、環境への影響についての関心が高いことから、環境影響評価の手続きとは別に、環境の現地調査の結果や、「計画概念図」で提示した構造などの検討をもとに、大気質、騒音、振動などの項目について、沿線地域の環境への影響と保全対策の検討結果をとりまとめました。(結果の一部を2面に掲載しています。)

今回の予測の結果、外環の地下化や、環境施設帯の整備、適切な保全対策の実施等により、環境基準などの環境保全の目標値を下回ると予測されています。引き続き、

### 計画の具体化に向け 検討を進めています

国土交通省と東京都は、沿線地域の環境への影響の予測と保全対策の検討結果をとりまとめ、公表しました。引き続き、沿線地域などで説明し、「ご意見をお聴きしながら、外環の計画について検討を進めます。」



地域PIでは、これまで国と都が公表した「東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)についての考え方」及び「計画概念図」について説明し、「ご意見をお聴きしています。」

意見をお聴く会等では、「環境への影響について具体的な数値で示してほしい」「スケジュールを示して検討を進めるべき」「インターチェンジ(IC)を建設した場合の周辺道路整備の検討が必要」「周辺がまわりのまちづくりを同時に検討していくべき」「大深度トンネル内の安全性の検討が必要」「外環のルートを再検討すべき」「建設を前提としているが、財政状況等を踏まえて検討すべき」などのご意見をいただいています。

今後は、「環境への影響と保全対策」についても、各地域で説明し、これまでにいただいた提案等を検討し、さらにご意見をお聴きしていきます。

開催日時、会場はホームページ等で詳細を公表しています。

### 地域PI 沿線地域で様々なご意見を頂いています

平成17年11月から2月までに1500人が来場

国土交通省と東京都は、沿線地域の各会場で地域PI(オープンハウス及び意見をお聴く会)を開催しています。

沿線地域を中心に、環境への影響と保全対策の内容を説明し、「ご意見をお聴きしながら」さらに必要な検討を進めていきます。

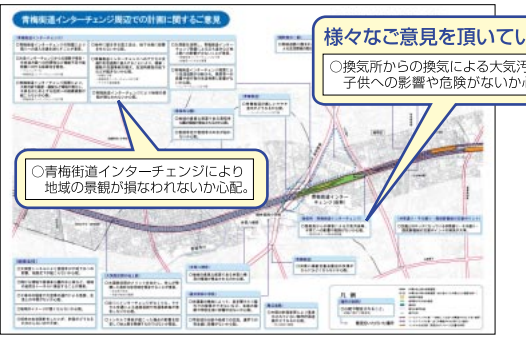
また、外環は不要といった意見が出される一方で、「外環を早く整備して欲しい」「大深度地下を通して、地上への影響がないのであれば建設はやむを得ない」などのご意見もいただいています。

### PI外環沿線会議

#### 地域PI等について 意見交換を行う

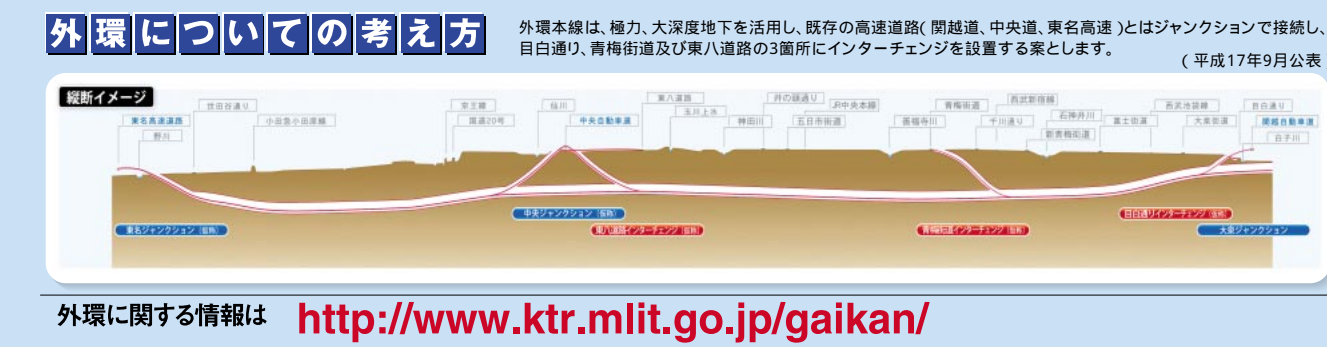
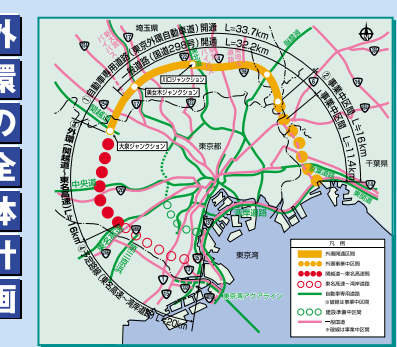
国土交通省と東京都は、1月19日及び3月3日にPI外環沿線会議を開催しました。

会議では、計画段階における議論の進め方やスケジューリング、地域PIとの関係、「考え方」や「計画概念図」環境への影響と保全対策などについての質疑と意見交換が行われました。



#### ●地域PI開催予定

地域	日程	会場	開催時間	備考
練馬区	3/11(土)	泉新小学校	10:00～12:00	意見を聴く会
	3/12(日)	上石神井中学校	10:00～15:00	オープンハウス
杉並区	3/23(木)	西荻地域区民センター	10:00～12:00	意見を聴く会
武蔵野市	3/18(土)	吉祥寺南町コミュニティセンター	10:00～15:00	オープンハウス
	3/17(金)	緑ヶ丘地域福祉センター	18:00～20:30	意見を聴く会
調布市	3/11(土)	東部公民館	18:30～20:30	意見を聴く会
狛江市	3/17(金)	谷戸橋地区センター	18:30～20:30	意見を聴く会
	3/19(日)	緑ヶ丘地域福祉センター	13:00～17:00	意見を聴く会
世田谷区	3/25(土)	鎌田区民センター	15:00～17:00	意見を聴く会
	3/29(水)	砧区民センター	14:00～16:00	意見を聴く会
中央道周辺	3/28(火)	三鷹市北野3丁目常設会場	18:30～20:30	オープンハウス
			13:00～17:00	意見を聴く会



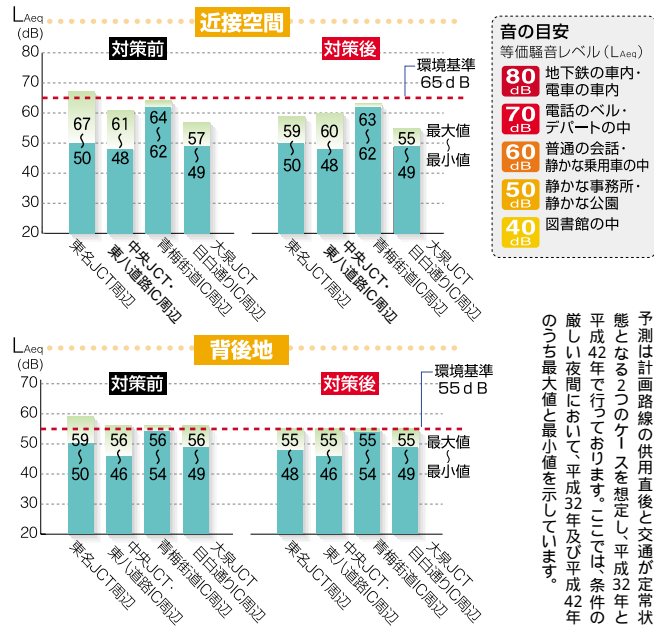
外環の全体計画

# 環境への影響と保全対策について

環境への影響の予測は大気質、騒音、振動、低周波音、水循環、地形及び地質、地盤沈下、日照障害、電波障害、動物、植物、生態系、景観、史跡・文化財、人と自然との触れ合い活動の場、廃棄物等の項目について、工事中や完成後において行いました。ここでは、騒音、大気質、水循環(地下水位)、動物、植物を紹介します。なお、予測結果及び保全対策については、今後、変更となることがあります。

## 騒音

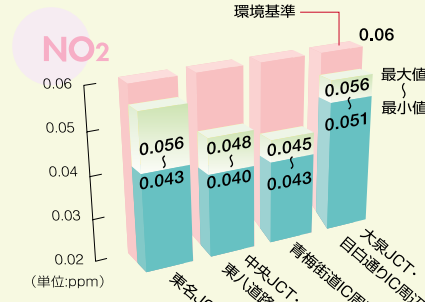
騒音の予測は、地上への連絡が必要となるジャンクション(JCT)及びインターチェンジ(IC)部付近を対象に、道路沿道(近接空間)と道路から20m離れた場所(背後地)で行いました。環境施設帯の設置及び低騒音舗装の敷設を行いますが、一部の箇所では環境基準を超えることから、さらに、必要な箇所に1.5m~7mの遮音壁を設置します。こうした対策により、いずれの地点でも騒音に係わる環境基準の値以下となります。予測結果は以下の通りです。



予測は計画路線の供用直後と交通が定常状態となる2つのケースを想定し、平成32年と平成42年で行っております。ここでは、条件の厳しい夜間において、平成32年及び平成42年のうち最大値と最小値を示しています。

## 大気質

自動車の走行や換気所の供用による二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の将来濃度の結果を示します。



予測値は、平成32年及び平成42年のうち最大値と最小値を示しています。(日平均値の年間98%値)

NO<sub>2</sub>に係わる環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。SPMに係わる環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であること。

### 換気所からの影響

換気所から排出されるNO<sub>2</sub>と浮遊粒子状物質(SPM)の地表付近への影響は非常に小さく、環境基準と比べて数百分の一以下となります。

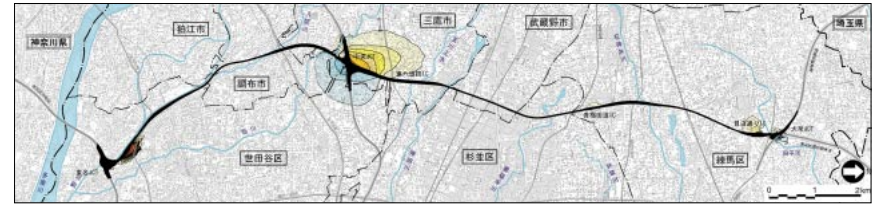
換気所からの影響	NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM(mg/m <sup>3</sup> )
東名JCT換気所	0.00010	0.00001
中央JCT1,2換気所	0.00014	0.00002
青梅街道IC換気所	0.00004	0.00001
大泉JCT換気所	0.00008	0.00001

換気所からの寄与による最大着地濃度を示しています。予測値は、平成32年及び平成42年のうち最大値を示しています。(年平均値)

## 水循環(地下水位)

地下水位の予測は、地下水位の変動量を三次元浸透解析と呼ばれる数値シミュレーションにより行いました。予測結果は以下の通りです。

### 浅層地下水位への影響(環境保全対策実施前)



### 浅層地下水位への影響(環境保全対策実施後)



水位変化量 (m)	浅層地下水位の予測結果 (単位:m)	深層地下水圧の予測結果 (単位:kPa)	
-2.0~-1.8	予測地点	最大上昇量	最大低下量
-1.8~-1.6	東名JCT周辺	約3.5	約0.2
-1.6~-1.4	中央JCT・東八道路IC周辺	約1.3	約0.9
-1.4~-1.2	青梅街道IC周辺	約0.3	約0.3
-1.2~-1.0	大泉JCT・目白通りIC周辺	約1.1	約1.2
-1.0~-0.8			
-0.8~-0.6			
-0.6~-0.4			
-0.4~-0.2			
-0.2~0.2			

(水圧変化量1kPaは、水頭で約10cmに相当します)

浅層地下水 地表から深さ約5~25mの立川礫層及び武蔵野礫層中に存在する地下水です。

深層地下水 立川礫層及び武蔵野礫層より深い位置の上総層群中の砂層及び砂礫層中に存在する地下水です。

## 環境保全対策

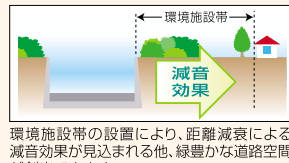
### 遮音壁



### 騒音低減効果のある舗装



### 環境施設帯



## 動物、植物

文献調査や現地調査で確認された種のうち、法律等で指定されている重要な種等について、影響を予測しました。

### 動物

事業の実施により、鳥類5種、爬虫類1種、両生類1種、魚類3種、昆虫類6種、クモ類1種、注目すべき生息地1箇所に影響が及ぶと考えられます。

環境保全対策として、夜間照明の適正配置、河川流量の確保、消失する生息環境又は移入可能な環境の代償を実施します。



### 植物

事業の実施により、維管束植物1種、藻類1種に影響が及ぶと考えられます。

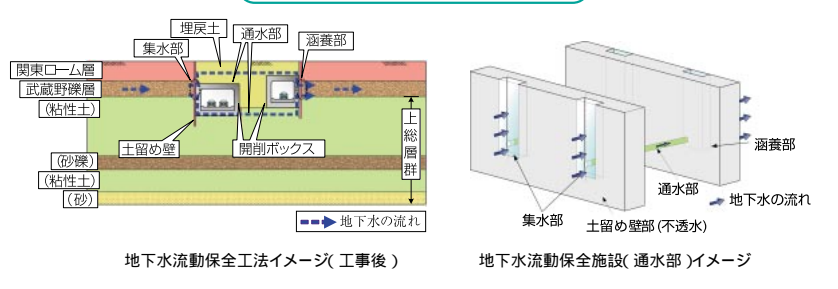
環境保全対策として、消失する生育環境の代償、重要な種の個体保存を実施します。



## 環境保全対策

浅層地下水の流れが阻害される区間において、地下水位の変動量が小さくなるように地下水流動保全工法を実施します。また、構造物周辺の深層地下水のうち、東名JCT周辺、大泉JCT及び目白通りIC周辺では、深層地下水と浅層地下水の水頭がほぼ同じ浅い位置にあることから、環境保全対策を実施することにより、深層地下水の水圧変動量は低減されます。

### 地下水流動保全工法のイメージ図



資料「環境への影響と保全対策」で詳細をご覧ください。  
 外環のホームページでも閲覧できます。→ <http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>  
 【お問い合わせ】 国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状道路調査事務所  
 0120-34-1491 (外環専用ダイヤル)